

平成27年度第1回旭市道の駅建設準備委員会 会議録

日 時：平成27年4月22日（水）午後3時30分
場 所：市役所3階委員会室
事務局：企画政策課
外部アドバイザー：(株)船井総合研究所

1. 開会

欠席（遠藤委員、平野陽一委員、宇畑委員、椎名委員）報告

2. 委嘱状の交付

人事異動により今回から出席となった「千葉県海匠土木事務所田中武彦委員」「旭市商工観光課向後嘉弘委員」へ市長から委嘱状の交付

3. あいさつ

委員長：平成26年度から引き続きまして、よろしく申し上げます。皆様新聞でご存知のように、この4月に九十九里や神崎など新しくオープンする施設ができて参りました。事務局から説明があると思いますが、旭市も正式に国交省に道の駅として登録されました。予定では10月16日頃竣工式ということで、それまで今回を含め、建設準備委員会はあと何回もないと思いますが、最後の詰めということでありますので、皆様には大変ご苦勞をおかけしますが、あと半年よろしくお願い致します。

市長：大変お忙しい中、平成27年度第1回建設準備委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。委員長から話がありましたとおり、いよいよ10月オープンに向けて、最終コーナーにさしかかったところでもあります。これまで長い期間、準備委員会の皆様方には御苦勞をおかけしましたことを、改めて御礼を申し上げたいと思います。

先週15日には、国土交通省より「道の駅季楽里あさひ」の登録が認定され、全国で1059箇所、千葉県内では旭市が25箇所目、鋸南町が26箇所目の道の駅として認定されました。そのような中で、4月20日には取締役会が行われ、本日は株式会社の出発として、臨時株主総会を行いまして、無事議案を承認いただけたところでもあります。

旭市は全国トップクラスの食の産地という自負がありながら、知名度、旭のブランドといったものは、ほとんど知られていないのが現実であります。そういったことを一つでも克服したい中で、旭市の情報発信の拠点として今回道の駅が開業するわけであります。

開業までの期間はあと約6ヶ月となり、いよいよ準備も本格的となります。建設準備委員として平成24年度からご協力いただいた皆様には深く感謝を申し上げます。最後の6ヶ月の中で、特徴のある道の駅にしていきたいと思っておりますので、今後ともますますのご尽力を頂きますようお願い申し上げます。

また、人事異動により新たに委員となるお2人には、また違った視点から観ていただきまして、今までのキャリアを活かしながら、素晴らしいアイデアを頂けたら

と思っております。

多くの皆様に目的地として利用して頂ける道の駅を造りたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

堀江駅長：今まで準備委員会でお世話になっておりました。正式に株式会社ができまして、駅長に就任させて頂きました堀江隆夫です。よろしくお願い致します。

道の駅の本当の目的はなんだということを考えておまして、頭に浮かんだのが、「三ケ日」という名前です。今から30年前に、三ケ日町の農協は当時光センサーを導入しておまして、決して悪いみかんは入れないということで、視察をさせて頂きました。当時の農協さんの素晴らしい対応というものが、ずっと頭の中にあるまして、必ずみかんを買うときは、三ケ日農協のみかんはないだろうか、あれば必ずそれを買って帰るようになりました。ぜひ旭の道の駅も、都会のスーパーに行っても、旭のものだということで買っていただけるような道の駅にしていきたいと思っております。

4. 委員自己紹介

5. 議題【道の駅運営に向けた検討項目】

(1) 今年度の事業計画とスケジュールの報告について

※事務局より説明

・今年度の事業計画とスケジュールの報告について

→売上計画について、人員計画について、スケジュールについて

各委員からの意見

委員：資料2ページ目の売り上げ根拠のところ、一部仕入が必要となる物とあるが、具体的にはどのようなものを想定しているのか。

事務局：1年間を計画した中で、旭市ではどうしても生産されない物や時期を含めて基本的に必要な農産物、あとは箱菓子といったお土産物である。詳細は今後の検討になる。

委員：出荷者の仕入品との線引きはどうするのか。

市長：個人が仕入れてきた物を出すのは禁止ということか。

事務局：それぞれ個人で生産したオリジナルの物を受け付けている。基本的には仕入れてきた物を売ることは禁止にしている。

委員：仕入になるか、委託となるのかよく考えないといけない。会社が一部の物を仕入れられる場合は、トラブルにならないよう生産者によく知らせてもらわなくてはならない。

委員長：出荷者協議会の方ではそういうことを話し合っているのか。

委員：建設準備委員会は道の駅がオープンするのと同時に解散となってしまうので、出荷者協議会の方で生産者が主体となって議論していただきたい。

委員長：おそらく全ての品物は集まらないだろう。仕入品については、早めに調整した方が良い。

市長：姉妹都市の茅野市と中城村との交渉はしているのか。

事務局：現在交渉している。茅野市のりんごは人気があり、出荷量については茅野市側で決めさせてもらいたいとのこと。中城村についてはどういった物産があるのか含めて交渉中である。

委員長：輸送の問題等があるので、10月オープンに間に合わせるために、早めに決めるようしていただきたい。

委員：農薬の残留等抜き打ちの検査等はあるのか。

委員長：農薬については、農協に出している方は農協でやっていると思うが、農協に出していない方は検査されているかどうかはわからない。もしどこかで検査漏れがあれば相当なイメージダウンになる。出荷者協議会の中で確実に検査してもらうようにしないとならない。

事務局：申し込みの段階でトレーサビリティについて説明しており、株式会社と共に管理させていただきたいと思う。

委員長：情報発信施設について、公衆無線 LAN を検討しているか。

事務局：現在検討している。NTT から話を伺っているところである。

(2) 開業日の報告について

※事務局より説明

・開業日の考え方について説明

→道の駅の開業日については、10月16日に関係者のみを招待する竣工式（プレオープン）を行い、10月17、18日に一般消費者が来場するオープンイベントを行う。

各委員からの意見

委員：オープンイベントの時間について、時間が9時から18時までとあるが、10月だと日没が16時45分とか17時なので暗くなると思う。オープンイベントも通常時間での営業ということになるか。

事務局：通常の営業時間で行うことを予定している。

市長：他の道の駅も同じような形で竣工式を行っているのか。

事務局：竣工式はおこなっている。グランドオープンには最大規模の売上が出る。土日をフルに使うべきであると検討した結果、今回決定した日程になった。

市長：竣工式の招待客として、「はとバス」等の旅行業者を招待した方が良い。

委員長：他の道の駅等の情報をなるべく仕入れるべきである。

アドバイザー：竣工式を別日に行うことを提案させて頂いたのは、オペレーションに慣れていない状態でオープン日を迎えることは、少し危険な部分があり、きちんとお客様に対応できる体制を整えたいというところがある。またオープン日の2日間は、市民の方を中心として、一番多くの方がいらっしゃることになる。道の駅を中心とした30分圏内の約7万人に対して、オープンチラシを打っていくことになる。その中の2000人から2500人が来るとなると、チラシの反応率が5%か6%くらいである。

竣工式に関しては、市長がおっしゃるとおり、外に対してもアピールすべきであるので、是非「はとバス」等、観光客を連れてきていただける皆様もご招待した方

がよいと思う。そのことについては、今後駅長を含め皆さんとご検討いただければと思う。

委員長：竣工式の1日だけで、従業員が慣れることができるか心配である。

アドバイザー：プレオープンを含む竣工式は1日のみとして、その分研修を手厚くしようと考えている。

事務局：今回の議題として、今年度の事業計画と予算ということで説明させて頂いた。実際の運用については、今後決定していくことになる。

委員長：事務局の計画のとおり、16日竣工式、17、18日グランドオープンということなのでよろしくをお願いします。

(3) メイン看板等の選定について

※事務局より説明

各委員からの意見

市長：オブジェについては遠くからはなんだかわからないと思う。そうであれば2つともサインレイアウトにした方がよい。

事務局：名称サインレイアウトについては、文字入れ可能なところに、「食の郷旭」というような文言を入れる予定である。

委員：耐用年数はどのくらいか。

事務局：本体の耐用年数と塗装の耐用年数は違ってくると思う。

委員：塗装の耐用年数は、おそらく10年か15年ではないだろうか。夜に看板をライトアップするのか。

事務局：ライトアップすることになっている。

委員長：発注時期はいつ頃か。

事務局：6月の中旬までには発注するように考えている。

委員長：出来れば試案として、委員の皆様には知らせてはどうか。そこで何か意見があるようであれば、考えるということにしてはどうか。

事務局：今の意見を踏襲したものを作らせて頂き、委員の皆様にお知らせしたいと思うが、タイミングによってはご意見を反映できない可能性があるため、工事の期間のタイミングについてはご了解いただきたい。

委員長：委員の皆さんの意見をフィードバックしてもらって、ある程度のデザインでよいので報告してもらえればよい。

(4) その他

※事務局より説明

・出荷者登録状況について

→4月13日現在の申込は221名である。

・「道の駅」の第43回登録について

→千葉県25箇所目の登録。今回で千葉県内は26箇所となった。

各委員からの意見

市長：野菜の出荷者が89人だが、10月17日のオープン日に実際に出荷するのがその6

割くらいだと思う。そう考えると 89 人で足りるのか。オープン日はたくさんの来場があり、品物がなくなってしまったとなれば大変だ。出荷者協議会の方に横の繋がりで加入してもらえよう働きがけをしてもらったほうがよいと思う。

委員長：旭としてはその時期は野菜の端境期なので心配だ。

市長：次回までに、オープン月に出荷される品目と出荷者の一覧表をもらいたい。

事務局：出荷者については募集の呼びかけを随時行っている。来月の出荷者協議会総会でも募集をはかりたい。

委員長：アドバイザーに伺いたいのが、18 時以降、暗くなった時にプロジェクションマッピングなどは行わないのか。

アドバイザー：プロジェクションマッピングかどうかはわからないが、イルミネーションやライトアップといったものはできると思う。

閉会 17:00